



# 三中だより

中野区立第三中学校学校

第2号

平成28年5月9日発行

## 統合へ向けて大きな第一歩

校長 齊藤 久

平成30年4月、三中と十中が統合して新しい中学校としてスタートします。昨年の秋から月1回開催される三中十中統合委員会では、中野坂上に新築する校舎について、各委員がそれぞれの立場から意見交換を行い、熱心に議論が進められています。統合委員会に出席するたびに、新校に対する期待の高さが伝わってきます。

入学した新1年生が3年生に進級した4月、現在の三中の場所で新しい中学校として開校します。そのため、1年生の山中湖移動教室は、三中・十中合同で実施しました。

4月20日（水）それぞれが学校の近くからバスに乗り、十中生と山中湖の宿舎で合流しました。1泊2日の宿泊行事でしたが、富士山の麓の大自然の中で、同じ時間を共有し、行動を共にすることで、2年後には、同じ学校の3年生として、自分達が仲良くすることで、後輩を引っ張っていくという気持ちを抱いてくれた生徒がたくさんいました。

宿舎の食堂で「いただきます。」の号令をかけた食事係の三中生は「2年後、三中と十中は1つの中学校になります。その時まで、お互い仲良くできるように、しっかり成長していきましょう。」と心温まるスピーチをしてから号令をかけてくれました。また、閉校式でお別れの挨拶をした代表生徒の三中生は、思い出の作文の中で、「普段だったら代表の挨拶をするときは緊張してしまうが、今回は全くしなかった。なぜなら、2年後にクラスメイトになると思うと、なんだかワクワクして、緊張すらしなかった。」と書いていました。さらに、三中女子生徒の話によると、三中生が移動教室の宿舎で、十中生に自分の名前を呼ばれたので、振り返ると、幼稚園の頃、良く遊んだ懐かしいお友達が声をかけてくれたそうです。その生徒は、「3年生になった時、十中生と仲良くできるか少し不安だったけれど、この山中湖移動教室で、十中生に幼馴染がいることを知り、2年後の統合が楽しみになりました。」と作文に綴っていました。この山中湖移動教室をきっかけに統合へ向け、生徒は大きな第一歩を踏み出しました。

新校の開校は現在の三中でスタートします。そこで2年間を見据えて、校舎の改修工事が始まりました。美術室がある神田川沿いの第3校舎は冷房がなく、今までは、蚊取り線香を焚きながら授業を進めていましたが、今年度、新校開校へ向け1年前倒しで、空調施設の設置工事が始まりました。今までも劣悪な環境の中で、素晴らしい作品づくりに励んできました三中生ですが、空調がきいた美術室では集中力が向上し、さらに素晴らしい作品を完成できるものと期待しています。また、夏休みには体育館の下にある特別教室の床の改修工事が予定されています。校舎の外壁塗装工事や体育館の床の張り替えなど、新校に相応しい校舎へ改修工事が予定されています。

いよいよ、施設も、そして、生徒も統合へ向けて歩み始めた三中です。

## 今後の主な予定

5月 9日（月）運動会練習始	5月24日（火）運動会予備日
5月12日（木）オープンキャンパス	6月11日（土）学校公開・セーフティ教室
5月21日（土）運動会（雨天時授業）	6月15日（水）定期考査（～17日）
5月23日（月）振替休業日	6月20日（月）水泳指導始

## 小中連携教育

教務主任 鎌形 孝二

中野区教育委員会の方針の重点項目に小中連携教育の充実があり、本校もその方針に沿って小中連携教育を推進しております。今年度も連携校である桃園第二小学校、白桜小学校、準連携校である塔山小学校、谷戸小学校の児童と本校の生徒を9年間見通して教科指導・生活指導を行ってまいります。

主な取り組みとして、以下の3点が挙げられます。

- ①オープンキャンパス…小学生に対し中学校生活の様子を示すことで、中学生としての自覚を持つ機会。
- ②乗り入れ指導…小中の教員同士が互いに行き来し、授業を実施することで9年間の見通しを持った教育を行う基盤をつくる機会。
- ③小中連携教育協議会…小中の教員同士が集まり、授業見学などを通して9年間の見通しを持った教育の課題について話し合いを持つ機会。

特に5月12日と9月20日に行われるオープンキャンパスの際には、桃園第二小学校と白桜小学校の6年生の児童が三中の授業や部活動の様子を見に来ます。普段の三中の素晴らしい生徒の姿を小学生に見せることで、小学生に良い影響を与え、憧れの存在になってくれること期待しています。

## 安心・安全・さわやか、そして思いやりにあふれる第三中学校を目指して 生活指導主任 土屋美樹

46名の1年生をむかえ、平成28年度がスタートし、生徒達は穏やかな雰囲気です。1年生も学校生活に少しずつ慣れ、元気に過ごしています。2、3年生は部活動や生徒会活動の中心となり学校生活に前向きに取り組んでいる生徒が多く頼もしさを感じます。

仲間の個性やその人らしさ、良さ、素敵などところを認めあいながら、集団生活として必要なマナー、エチケット、将来に備えて身につけなければならない社会通念など、節度を持って行動できる力を身につけてもらいたいと思っています。挨拶や言葉づかい、身だしなみを整える等あたりまえの事を大切にできるように全教育活動を通して指導をしています。楽しくて有意義な学校生活を送ることができるよう、また、自ら考え、正しく判断し行動することができるように、支援、指導をしていきます。

「きまり」「ルール」ということばは窮屈のように感じられますが、学校という集団生活を円滑にし、充実した中学校生活を送るために必要なものですのでしっかりと守っていきましょう。ご家庭においてもご理解とご協力をお願いいたします。

生徒一人一人が自分で心身を守り、安心して安全に過ごすことができるように、防災、交通、情報モラル、薬物乱用防止教室等の安全指導、ふれあい月間のアンケートや面談等の教育相談が充実したものとなるよう生徒の実態にあわせ実施してまいります。

保護者の皆様、心配な事がありましたら、どんなことでも遠慮なく相談してください。

生徒のみなさん！思いやりにあふれ、誠実な心遣いと気配り、そして活気のある第三中学校を築いていきましょう。特に三年生のリーダーシップに期待しています。一人一人が三中を支え、発展させるために自覚をもち、支え合い協力しながら、充実した28年度にしていきましょう。

## 中学生にとっての進路学習とは

進路指導主任 高橋 美保子

中学校の3年間は長いようですがあっという間に過ぎていきます。1年生では、基礎・基本の大切さを理解し身につけます。2年生では、自我の目覚めとともに自主・自立を意識します。3年生では自分自身への理解を深め、自分の目標に向かってあきらめず努力していきます。中学校の進路学習とは、この過程を通して、生徒が人間的に成長していくことを目指しています。

一方、気になる受験関係ですが、昨年度、都立高校選抜の制度が変わりました。マークシート方式が採用され、全日制一次入試は5教科受験となりました。すべての学校で入試得点：調査書点が7：3となり入試得点が重視されています。また、実技教科の評定は2倍で換算されます。要するに日常の学校生活の成果を幅広く評価しているのです。では、どのように日常生活を送っていけば良いのでしょうか？

- ①全ての進路は中学校生活の延長線上にあります。基本的な生活習慣や礼儀作法を日常生活の中で身につけましょう。
- ②学校の授業をもとに家庭学習に取り組み、学力を身につけるとい学習習慣を確立しましょう。提出物は必要最小限の学習内容だと考えてください。
- ③得意なこと好きなことはもちろん、苦手なことにも積極的に粘り強く取り組むところを育てましょう。

このように、高校進学は一つの目標ではありますがゴールではありません。中学校生活を充実させ、情報端末に頼りすぎずたくさんの友人とコミュニケーションをはかりましょう。

## 中学生として

1 学年主任 山邊 了

入学式では緊張した面持ちでしたが、山中湖移動教室を終え、お互いにあだ名で呼び合う姿が見られるほど打ち解けてきました。

この移動教室では、部屋班・3種類それぞれのレクリエーションなど行動班・バーベキュー班と、男女・学級を越えて場面でメンバーを組み替え、目標の一つである「三中生全員と仲良くなる」に向けてできるだけたくさんの人と会話できる機会をもちました。

打ち解けてくると、お互いに楽しいことだけではなく「良いことは良い」「悪いことは悪い」と声を掛け合うことができるようになります。今後も生徒同士で自浄したり高めあったりできる学年を目指していきます。



## 「今、チャレンジの時」 2年生！

2 学年主任 本川 みどり

2年生としての生活がスタートしました。教室が2階に変わり、1年生が部活動に参加するようになり、上級生としての自覚がだんだん出てきた頃でしょうか。1年生の頃とは違い、ある程度の見通しを持って、また少々失敗してもやり直す時間がいくらでもある2年生という時代は、常に、「チャレンジ精神」を持ち、いろいろな力をつけることができる時代だと思います。この進級を機会に心を切り替えて新しいスタートラインに立ち、お互いを認め合い、今までのマイナスの気持ちを持ち込まずに、2年生の生活を始めてくれることを願っています。また、一人ひとりが様々な力をつけて成長していくため、楽しく充実した生活を送るためには、集団の力は不可欠です。より良い集団を目指し、一人ひとりが少しずつ気をつかい、時には我慢もして、努力してみること。

そうすると本当の楽しさがうまれてくるのではないのでしょうか。2年生が大きく飛躍してくれることを期待しています。ご協力よろしくお願ひいたします。

- ・ A組学級目標…一蓮托生  
～皆が笑顔でいられる明るい2Aにしよう～
- ・ B組学級目標…We can do it!!  
～クラスで協力・団結し絆を深めよう～



## 最高学年！！

3 学年主任 川見 晶子

中学校の最高学年、それは生徒会活動や部活動など先頭に立って行動する学校の顔的な存在です。3年では「いいところ探し+ともに成長しよう→未来を切り拓く力へ」をスローガンに掲げました。2年間積み上げてきた力を自らに還元し、これからずっと先の未来までを切り拓ける力をつけ卒業していくことを意味しています。二年前、入学してきた頃とは見違えるほど体も心も大きく成長してきました。学校行事などでは、喜びを共有できるよう、一つ一つ充実した取り組みになるようにしていきたいです。進路決定では自分を再発見し自らの進路選択ができるようにし、互いに支え合うことができる仲間、学年集団に育てたいと考えています。

この一年が終わるころには進路が決まり、それぞれの道にわかれていくこととなります。先日「3年生になって」の作文に目を通しました。「すべてに最後という言葉がつく、悔いを残さない、たくさんの思い出をつくる、なお一層勉強に励む」と言ったように、みなぎる決意と新たな思いにあふれていました。一年間生徒、保護者の皆さんとともに頑張っていきます。どうぞよろしくお願ひします。

## 基本的な生活習慣の定着を目指して

保健主任 中角 友紀

今年度がスタートし、約1か月が経ちました。今のところ、大きなけがや病気なく過ごしている様子に安心しています。

さて、今年度も子供たちが健康・安全に学校生活を送るために、健康診断がスタートしています。1年生は少し緊張した姿で、2・3年生は、慣れた様子で、校医に気持ちの良い挨拶をしている姿が印象的でした。また、「身長を測らせてください」と保健室にやってきては、「〇cm伸びた!!」、「縮んだ!」と一喜一憂している、微笑ましい様子が見受けられます。

中学生は、心身共により大きく成長する時期です。心身の健康のためには、基本的な生活習慣が欠かせません。この時期の生活習慣は、将来の健康、健康管理にも影響します。子供たちには、健康診断や健康教育等を通して、自己の心身と向き合い、望ましい基本的な生活習慣を身につけ、自己管理能力を高めてもらいたいと思います。また、9月15日(金)には学校保健委員会を予定しています。保護者・学校医・教職員で子供たちの健康について考える機会ですので、ぜひご参加ください。

今後も、ご家庭・関係機関・学校と協力しながら学校保健活動を進めてまいります。保健関係の連絡、情報に関しては、保健だよりをご覧ください。ご協力の程、よろしくお願いいたします。

## 特別支援教育

特別支援教育コーディネーター 川見 晶子

平成19年度特別支援教育が全国に発信され10年が経とうとしています。今ではADHD、高機能自閉症、LDという障害名や発達障害という言葉聞いたことがないという方は少ないと思います。一見問題なくできることもあれば、支援があってできることもあるため、見た目には見えにくい障害です。思春期のこの時期、なぜみんなにはできて、自分は同じようにできないのか理由がわからないまま、困っている子どもたちがいます。支援内容は一人ひとり異なるので、学年、学級担任、保護者のみなさんと一緒に考え相談していきたいと思っています。

三中は昨年に引き続き全校でプリント罫線の幅や板書時のチョークの色、計算用紙の余白、掲示物の場所など、すべての生徒に役立つ支援に取り組んでいきます。また「心のかげはし通信」でさまざまな情報も発信していきます。

### 二十四節気 七十二候【気候】

二十四節気が古代中国から伝わったのは6世紀頃。それから明治6年に太陽暦を採用するまで日本人が長く寄り添ってきた暦です。太陽の高さが最も低くなる「冬至」、反対に最も高くなる「夏至」、その間の「春分」、「秋分」の四つを基点に、一年を二十四等分に区切ったものです。これをさらに三等分したのが、約五日毎に季節が巡る「七十二候」です。気候という言葉は、この二十四節気の「気」と七十二候の「候」から生まれたものです。季節を五日毎に区切れる程、自然を愛で、自然と共に過ごし、自然を身近に、そして敏感に感じていた先人達。そのような自然との関わりから、我々の文化が生まれました。毎日が慌ただしく過ぎていく昨今、先人にあやかり、身の回りの自然を眺めると日々の忙しさにほっとする瞬間を添えてくれるかもしれません。

さて、5月5日は立夏。夏の語源は「暑(あつ)」の音が「なつ」に変化したものとも言われています。立夏の初候は「蛙始鳴(かわずはじめてなく)」です。本校正門横の池でも、たくさんのオタマジャクシが蛙になる季節を待っています。

参考文献 イラストで楽しむ日本の七十二候(中経の文庫)

学校便り・学年や学級の便り、HP等の学校広報物に、遠景のものや後ろ向きのもの等配慮して、生徒の活動の写真を掲載させていただくことが一年を通じてあります。諸事情により肖像・著作・氏名等について、学校広報物に公開・掲載を控えたいなどのご要望等がある場合には、個別に対応させていただきますので、担任までお知らせいただきますようお願い申し上げます。